

〈特集：国際保健協力の充実化に向けて〉

国際保健医療協力における情報システムの構築について

林 謙 治

(国立公衆衛生院保健人口学部)

Formation of information system for international co-operation in health

Kenji HAYASHI

(the Department of Public Health Demography, the Institute of Public Health, Tokyo)

K. HAYASHI *Formation of Information System for International Co-operation in Health*. Bull. Inst. Public Health, 40(4), 455-458, 1991

Key words International Co-operation, Information System, Health

近年、公衆衛生学会を始め多くの学会で毎年のように「国際協力」がシンポジウムのテーマとして取り上げられ、国際保健医療協力に対する関心が高い。しかしながら、関心を持つ層が広がっているのは政府開発援助が量的に急速に増大したことが背景となっており、協力内容の質的向上をどう図ればよいかについて議論が必ずしも煮詰まっていない。最近、我妻はこれらの問題点を整理して報告している¹⁾。

従来わが国が国際保健医療協力を実施する場合、しばしば相手国に関する情報が不十分なため、協力計画があいまいとなりがちで従って協力目標も明確にならず事業評価を困難にしているきらいがあったことは否めない。いかなる事業にせよプランニングの段階で明確性および柔軟性の幅を設定しなければ支障を来すことは当然である。この点について著者が参加した国際協力事業団の委託研究報告書でも繰り返し述べてきたところである²⁾。

また、プランニングのための事前調査はプロジェクト毎に行なわれるが、他のプロジェクトにおいて蓄積された情報がどのように保存され、どのように利用できるか専門家の間ですらあまり知られておらず、そのために重複した調査あるいは重要情報の欠落があり作業が効率的でないこともしばしば見受けられる。

以上から明らかなように効率的、効果的国際保健医療協力プロジェクトを組むために必要な情報を迅速に入手することが肝要であり、そこにデータベース構築の重要性が浮び上がってくる。

1. 国際保健医療情報のストックとフロー

国際保健医療協力プロジェクトを構築し遂行する時、相手国の輪郭を知るための情報（自然環境、社会経済的状況、文化風土等）、プロジェクトの成立の可能性に関する情報（相手国の要望、行政組織、プロジェクトの経験等）、マスタープラン作成のための情報（協力内容およびプロジェクトサイトの決定、組織作り等）、評価のための情報等が必要となる。

そういう意味では最も豊富な情報を保持しているのは国連であり、マクロならびにマイクロ情報ともに大部分公開されている。但し、人事と財政に関する情報は非公開である。アメリカ、カナダその他のOECD加盟国における国際援助機関は経験が豊富であるだけにさまざまな情報を持っている。しかしながら、二国間協力を行なう際にはさらに詳しい情報が必要であり、国際協力事業団は相当詳しい情報を保有しているものの、残念ながら十分整理されておらず今後いかに活用するかが課題であろう。その他、海外および国内

のNGOsも相当量の独自情報を持っており、また、国際協力専門家や関係者が個人レベルで持っている情報もきわめて有益なことがある。

1) 国連情報

国連情報はとりわけ特定分野の協力する場合にプライオリティカントリーを選定する参考となる。

例えば、国連人口活動基金がプライオリティカントリーを選定するにはまずマクロレベルの情報を用いて指標を設定している。ちなみに1982年に設定された基準は①乳児死亡率②耕地面積当りの人口密度③年間人口増加率④一人当りのGNPであり、1986年の改定では上記四指標の他に⑤総再生産率⑥識字率を追加した³⁾。

異なる協力分野ではそれぞれ独自の指標が設定されてしかるべきだが、世界レベルのマクロ情報はなんとと言っても国連の資料が重要である。

国連情報は基本的には各機関がそれぞれ現地事務所を通して独自に収集しており、数多くの出版物を発行し、あるいはデータベースを構築している。各国が提供する情報を一旦収集した上で、信頼性の低いと思われるものについては国連本部で開発した手法を用いて修正した上で発表することもある。

また、各機関が必要に応じて独自に調査を行ない収集する情報もある。一例を挙げれば、世界保健機関のアメリカ地域事務所 (PAHO: Pan American Health Organization) が現在行なっている「ポリオ根絶計画」にのったポリオモニタリング情報は注目に値する。南米各国のポリオ情報担当官をワシントンに招き、一定期間トレーニングした後、各国にパソコンを供与した。それらをオンラインで結び毎週定時点測定の結果を送らせており、状況変化によってワクチン供与計画を決めている。

国連の情報システムについて言えば、古く1974年より本部が主要なものについて調査し、情報ディレクトリーを作成してきた。本ディレクトリーは国連 Advisory Committee for the Co-ordination of Information System (ACCIS) が各国連機関に対して調査を行ない、DUNDIS と呼ばれるデータベースから作成したものである。内容はきわめて広範囲にわたり872項目にもほり、39関連機関からの報告に基づいている。従って、個々の情報のデータベースそのものは各国連機関

が保有している

2) アメリカ海外開発援助庁 (USAID) 等の情報収集とネットワーク

USAID はワシントンに所在しており、地の利に加えて国連の他、世界銀行、各国大使館等との人的交流が盛んであり、さまざまな情報にアクセスするチャンネルを持っている。また、米国が深い関心を寄せている国々の国家統計局と情報契約を結んでおり、国連の持っていない特殊情報を保有している。

我が国との基本姿勢の違いは情報収集に対する驚嘆すべき努力とネットワークの大きさである。例えば、エイズ情報の収集では発表された文献はもちろんのこと、世界各地で口頭発表されている演題についても現地担当者に出席させフィルムに収めワシントンに送られている。

地球環境情報についても国際協力の視点からデータベースを構築しつつあり、アメリカ航空宇宙局 (NASA) が作成した ORBIT 情報データベースとの緊密な連携を進めている。

3) 国際協力事業団の情報収集とストック

事業団の所蔵する情報は一般図書、テキストのほか現地で調査団が収集し持ち帰る資料および調査団や専門家が作成する報告書類であり、JICA 図書館に収納されている (表1)。

調査団収集資料の内容は、9割以上が「対象国の概要」と「案件の属するセクターおよび地域の概要」に集中しており、国際機関等が行なっているプロジェクトの対応概要に関するものは少ない。その他 JICA 内部で作成した実務関係に関する資料がある。報告書類は保健医療関係では「感染症対策協力調査団報告書」、「家族計画協力実施調査報告書」、「医療協力基礎調査団報告書」、「看護教育プロジェクトエバリュエーション調査団報告書」、「薬品品質管理プロジェクト巡回指導調査団報告書」等がある。

JICA 図書館で用いられている分類法は、「国際協力事業団図書資料分類法 (JDC)」と呼ばれる独自のもので、一般に広く用いられている NDC、DDC とは互換性を保っているが、報告書の内容を検索する際には表題のみから判断しなければならないので、専門家の立場からすれば特定の事象に関する情報収集のケースが少なくないので効率的ではない。

表1 JICA 図書館蔵書等(1991. 3. 30 現在)

形態等区分	保有数量	収録目録名
一般図書	34,125冊	
JICA 報告書	20,043冊	刊行資料目録 作成資料目録
JICA テキスト	6,155冊	テキスト類資料目録
調査団収集図書 (原則として30ページ以上)	21,053冊	国別収集資料目録・累 積版 I 国別収集資料リスト No. 8~18
調査団収集資料 (非図書資料)	7,000点	
移住図書	2,368冊	移住関係図書資料目録
逐刊行物	500種	逐次刊行物目録, 雑誌 類索引
国際機関資料	8,000点	(なし)
地図類	16,000枚	国別収集地図目録(索引 簿) 国別収集地図目録(索引 図)
フィルム・VTR 等	971点	映像資料目録
マイクロフィルム	11,000枚	専門家業務報告マイク ロフィルム目録

JICA 図書館では蔵書の他に、幾つかのデータベースを保有しており、一般へのサービスを行なっている。光ディスクシステムを利用したものとして、研修員カントリーレポート、専門家報告書のデータベースがあり、国名、著者名、分野名等で検索できる。パソコンと光磁気ディスクを組合わせたシステムで途上国技術情報データベースもある。これは独自の分類、階層構造を持ち、項目検索の他キーワード検索も可能である。また、他の先進国援助機関との情報交流を目的として、カナダのIDRCをセンターとするIDRISのメンバーにもなっている。IDRISメンバー機関の研究調査プロジェクトの情報にアクセスすることも可能である。

JICA では事業の質的向上と効率的な運営をサポートする総合的な情報システムを構築するための第一段階として、基本構想をまとめるための「情報システム

基本計画策定調査」を1990年10月から実施している。調査の手順は1、予備調査2、内部分析3、外部分析(①被援助国調査②先進国/国際援助機関調査③国内関連省庁/機関ヒアリング)4、現行業務調査分析5、事業、組織目標の設定6、業務実施計画の策定7、システム化計画策定となっている。

この調査結果を基に数年後に完成するシステムのイメージはドイツのGTZ(ドイツ技術協力会社)が持っているような専門家情報、過去の案件概要とその評価、実施中の案件の進捗状況に被援助国の社会的情報を統合した総合的情報システムである。

3. NGOs の情報収集

我が国のNGOsは年を追うごとに急増しており、特に最近10年間に著しい。NGO活動推進センターの発行する1990年版のNGOディレクトリーを通覧すると約40~50団体が保健医療分野で活動を行なっているようである。これらのうち45団体を対象にプロジェクト推進するに当たってどの程度情報収集をしているかについて調査を行なった⁴⁾。

各NGOの活動内容(重複回答)を見ると資金協力が23団体、人材派遣が18団体、機材供与が17団体、研修員受入れが12団体の内訳となっており、活動内容によって収集する情報の種類、規模がかなり異なるようである。情報収集状況については14団体が「以前から継続しているプロジェクトであるので現在は特に情報収集を行なっていない」と答えており、13団体が「プロジェクト開始可能の見通しがついた時のみ詳しい調査をする」としており、また、9団体が「すべての案件について詳しく調査する」と答えている。

調査の方法として「現地調査による」がもっとも多く、次いで「相手国NGOから情報を得る」、「NGO自身の蓄積情報」、「日本または第三国NGOから情報を得る」の順であった。我が国のNGOsは欧米諸国に比べ一般に歴史が浅いこともあって国際的なネットワークが十分形成されていない。そのために情報に乏しい側面があるが、今後NGOsの育成を図ることが必要であると同時に政府-NGO間の交流は現地の実践レベルの情報把握に重要であろう。

2. 国際保健情報ネットワーク作りの展望

近年国際保健医療に携わる関係者の間からプロジェ

クトの効率的運営のためにデータベース構築の要求が強い。著者も長年国際協力を携わってきたのでその意義は十分認識している。しかしながら、具体的に構築する上では今後乗り越えるべき課題がいくつかある。

マクロデータにせよ、マイクロデータにせよ各国際機関、外国政府機関にかなりの情報の蓄積があり、これらを活用するルートを作っておくことが重要である。しかしながら、従来我が国は国際保健医療協力を焦点とした国外機関と組織対応的に情報交換することが乏しかったと言わざるをえない。外国から情報を受取るためには我が国の持っている情報を定期的に発信する必要がある、この点も今まで軽視された傾向があるように思える。

次にデータサービスを受ける側のニーズが行政官、専門家、研究者、実務担当者等立場によって実に多様である。プロジェクト運営はプランニング、実行、評価の三段階があるがそれぞれの段階に必要な情報は質的にも異なる。国際機関や国内機関で入手できる情報もあれば、現地でなければ入ってこない詳細なものもある。また、一口に保健医療分野と言っても多くのカテゴリーがあり、上記の段階別情報と組合せれば膨大な情報量が想定される。

これらの情報ニーズをすべて満足させるデータベース構築を完成させることはほとんど不可能に近く、ま

た、使用頻度の少ない情報の蓄積はものによっては維持コストが非常に多くつくことになる。

以上のことを勘案すれば、プロジェクト種類別の最大公約数的な基本データベースを構築した上で、その他の個別情報についてはレファレンスサービス機能を最大限に充実化させることが実際的であると思われる。

国際協力を充実化させるためにはまだまだ多くの問題を抱えている。本文で述べた情報システム構築はその一部であるが、重要な第一歩であることを強調したい。

本研究は国立病院医療センター「国際医療協力研究委託費」によって助成された研究成果の一部であることを付記する。

文 献

- 1) 我妻 堯. 我が国の国際保健医療協力について. 日本公衛誌, 38, (1), 1991.
- 2) 国際協力事業団. 人口家族計画分野における協力ガイドライン(班長村松稔). 1988.
- 3) 林謙治, 兵井伸行. 国連人口基金(UNFPA)の活動—我が国の果たした役割と今後の課題—. 公衆衛生院研究報告, 38(1), 1989.
- 4) 森千代子. 我が国の国際保健医療協りに携わる民間公益団体の現状. 平成2年度国立公衆衛生院特別演習録.